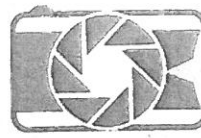




おもしろが

趣味でマンガを描きたい初心者やプロを目指す上級者など、あらゆる年齢層が幅広くマンガやイラストを学べる堀江アートスクール(西区南堀江2丁目)の伊藤藤珠塾長は24日、近畿社会福祉専門学校(都島区片町1丁目)のオープンキャンパスで塗り絵の下絵を描



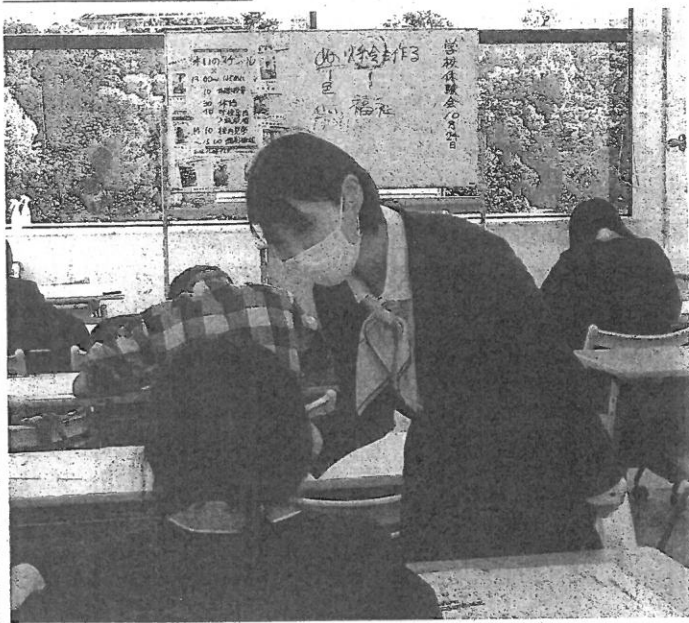
大阪

こちら

にちにち販売課

絵を描く楽しさ知って

堀江アートスクール塾長 学生らに「こつ」指導



授業で絵を描くこつを教える伊藤塾長

く授業を行った。授業に参加した来年の入学予定者や進路で検討している学生たちは絵を描くこつや楽しさを体験した。同校が新型コロナウイルスの影響により、外出できない介護施設の利用者へ塗り絵を提供する取り組みを行うために、同スクールにイラストを依頼したことがきっかけとなって今回の授業などの関係者をはじめ多く

業が実現。参加者は伊藤塾長のアドバイスを参考に、用意された下絵のイラストを楽しみながら書き写していた。

現在、同校のホームページでは同スクールから提供されたイラストのほか、一般から募集したものが多数ダウンロードできるように

くの人に使用されている。来年同校に入学予定の川畑真さん(20)は「縁取りをしてから描くこつを学びました。介護の現場でも生かしたいです」と意欲的。同校事務局の阪井妙子さんは「塗り絵は施設の高齢者に大変喜んでいただいています。塗り絵を通じて人の役に立つことを学んでほしい。普段の体験授業とは趣向を変えました」と説明した。

伊藤塾長は「絵を描くこつとは紙とペンがあれば気軽にできます。普段は絵に興味がある人に教えていますが、今回の参加者にも楽しさを感じてもらえました」と手応えを感じていた。

(大島清孝)

◇このコーナーへの情報提供をお待ちしています。電話06(6454)7057、大阪日日新聞販売課までお寄せください。